

取扱説明書

粉落とし回転ブラシ

BC-7



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると、事故を引き起こすおそれがあります。お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

粉落とし回転ブラシBC-7を お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は粉落とし回転ブラシBC-7の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取り扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合、速やかに当社にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・JAにご相談ください。
- ▲** 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。使用前に必ずお読みください。

目 次

1. 安全に作業をするために.....	3 ~ 6
2. 安全銘板の貼り付け位置.....	7
3. 本製品の使用目的について.....	7
4. 各部の名称.....	8
5. 仕 様.....	8
6. 組立要領.....	9 ~ 10
7. 運転及び操作.....	10 ~ 11
8. 点検・整備及び保管上の注意.....	12
9. パーツリスト.....	13 ~ 15

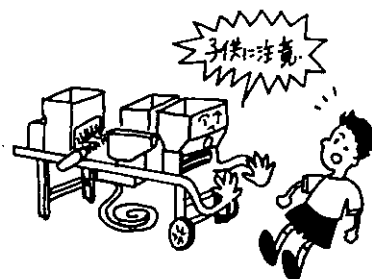
1. 安全に作業をするために

ここに記載されている注意項目を守らないと、
死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

▲ 警告 子供を近づけない

子供には充分注意し、近づけないようにしてください。

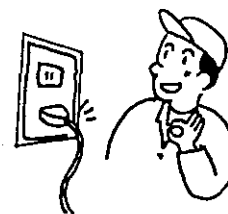
【守らないと】
傷害事故を引き起こすおそれがあります。



▲ 警告 電気部品・コードを必ず点検

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや
接触部のゆるみがないかを毎日作業前に点検してください。

【守らないと】
ショートして、火災事故をおこすおそれがあります。



▲ 警告 2人以上で作業するときは、 お互いに合図しながら機械を始動する

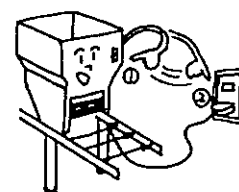
【守らないと】
思わぬ事故になることがあります。



▲ 警告 点検・整備時には必ず電源スイッチを 「OFF」にし、差込みプラグを抜く

点検・整備は、必ず電源スイッチを「OFF」にし、
差込みプラグを抜いてから行ってください。

【守らないと】
思わぬ事故をおこします。



▲ 注意

使用前に取扱説明書を必ず読む

使用前に取扱説明書をよく読んで安全で正しい作業をしてください。

【守らないと】

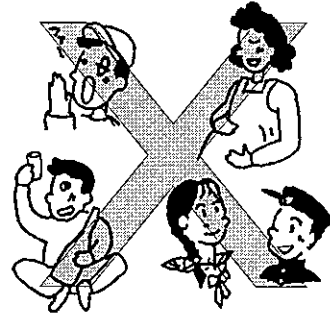
傷害事故や機械の破損をひきおこします。



▲ 注意

こんなときは作業しない

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- 酒を飲んだとき。
- 妊娠しているとき。
- 18才未満の人。



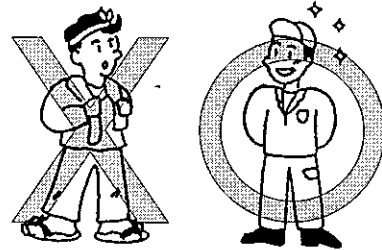
▲ 注意

作業に適した服装をする

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。
作業に適した、だぶつきの無い服装をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたりするおそれがあります。



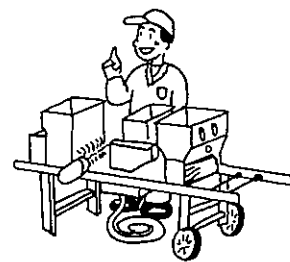
▲ 注意

点検・整備をおこなう

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。

【守らないと】

事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。



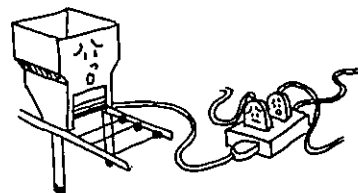
▲ 注意

電源は单相100V専用コンセントに接続する

また、タコ足配線はおやめください。

【守らないと】

火災事故の原因となります。



▲ 注意

作業中、停電した場合は、必ず電源スイッチを切る

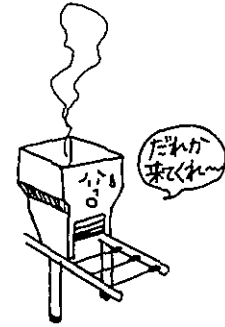
【守らないと】
通電時、急にまわりだし、思わぬ傷害事故を起こします。



▲ 注意

作業を中断・終了した場合は、必ず電源スイッチを切る

【守らないと】
ショートして、火災の原因になることがあります。



▲ 注意

カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで取り外したカバー類は、必ず取り付けてください。

【守らないと】
機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

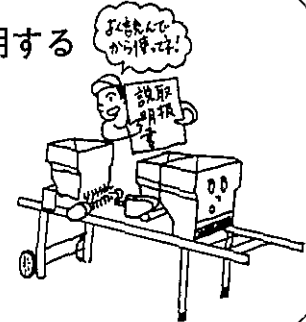


▲ 注意

機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

【守らないと】
傷害事故や、機械の破損をまねくおそれがあります。

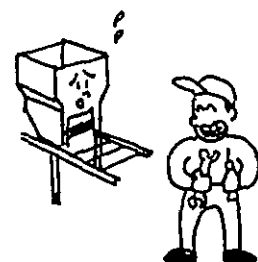


▲ 注意

機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けしないでください。
改造をしないでください。

【守らないと】
事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。



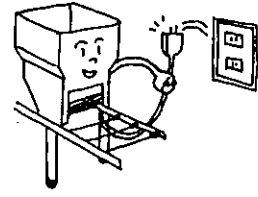
▲ 注意

後始末を忘れずにする

長時間使用しないときは、差込みプラグをコンセントから抜いてください。

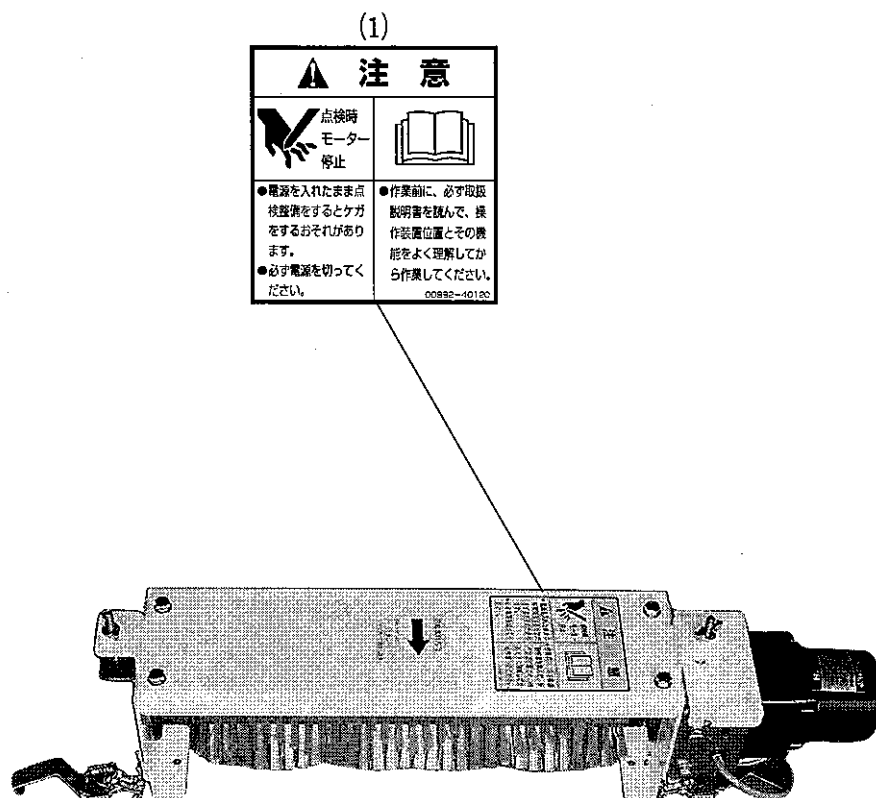
【守らないと】

火災事故や感電事故のおそれがあります。



2. 安全銘板の貼り付け位置

安全に作業していただくために安全銘板の貼り付け位置を示したものです。
安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。



紛失または破損された場合には、当社に下記の表を参考にご注文ください。

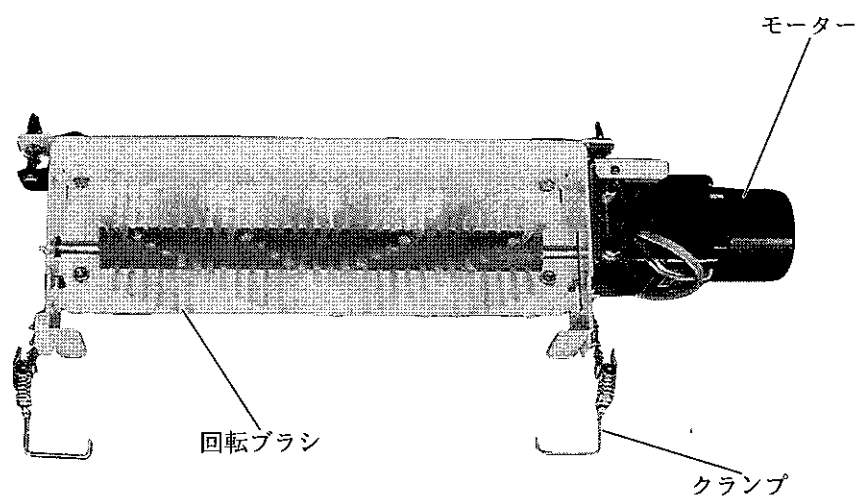
No	部品番号	部品名称
(1)	00992-40120	注意ラベル CL-9

3. 本製品の使用目的について

本製品は、育苗箱上面の粉落とし作業機又は育苗箱へ土入れ後の土ならし作業機としてご使用ください。

使用目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。

4. 各部の名称



5. 仕様

型	式	BC-7	
機体寸法	全長	110mm	
	全幅	560mm	
	全高	260mm	
重	量	4.5kg	
動	力	10W/AC100V	
適	応	機	種
		HK-205A、B、D	THK-1005
		HK-305	THK-3005
		HK-207	THK-3015
			THK-1007K
			THK-2007KB
※後灌水の場合取付け出来ない機種もあります。			

6. 組立要領

6. 1 粉落とし回転ブラシとしてお使いの場合は、播種機のフレーム（レール高さ）が60ミリのものと80ミリのものがあります。

- 本製品は80ミリのレールに合わせて組付けてありますので、そのまま組立てることが出来ます。
- 60ミリのレールは、プレート2ヶ（左、右）巻ブッシュ2ヶ（モーター側のみ）を取外してから組付けます。（下記写真参照）

同梱のクランプ（30）をモーター側のクランプと交換します。

注）レールとレールカバーの寸法によりクランプ（40）又はクランプ（30）を使います。

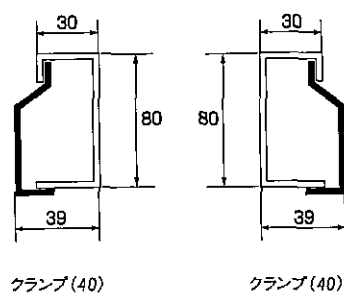


図-1

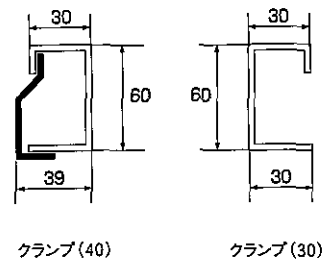
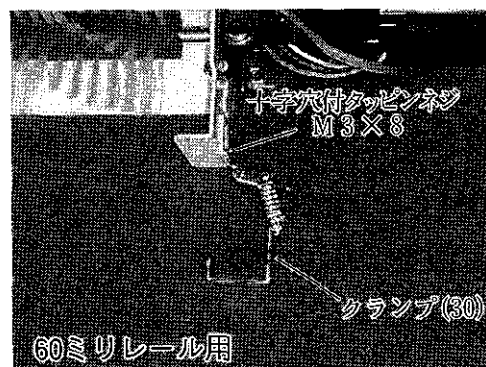
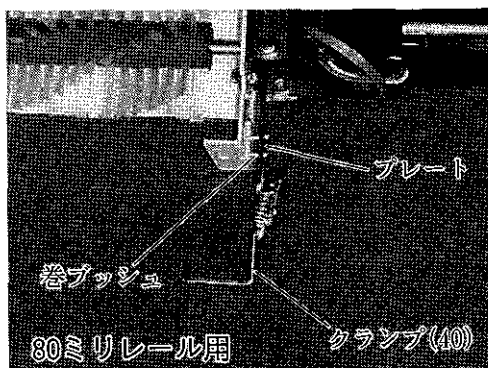
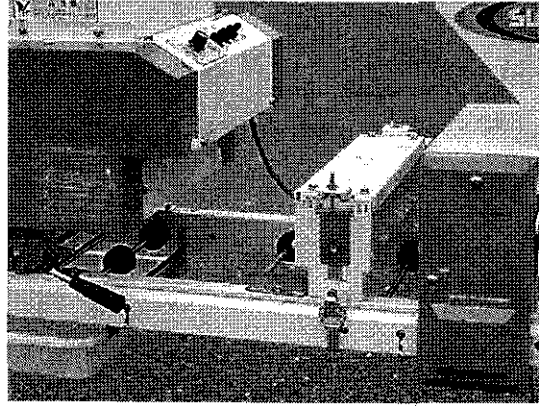


図-2



6. 2 粉落としブラシの組立

- 粉落とし用Vブラシ又はVゴムを取外します。
- モーターを左側に配置しレールに直角となる様位置決めします。
- 両サイドに付いているクランプのフックをレール下部又はレールカバーに引掛け、レバーを押し上げて固定します。
- 電源コードは播種機の駆動部についている、空いているコンセントの所へ入れてください。
注）空いている所がないときは、二又コンセントを使ってください。
- メインスイッチの入、切で連動するようにセットします。（回転ブラシにはスイッチがついていませんので、コードリールなどに直接コンセントを差し込まないでください。）



6. 3 土ならし回転ブラシとしての組立

床土を入れた後に表面の土を軽くならすものです。育苗箱の上端より10ミリまで調節できます。

- 床土ホッパー（覆土ホッパー）の先に取付けます。取付け方は、6.2を参照してください。

7. 運転及び操作

7. 1 運 転

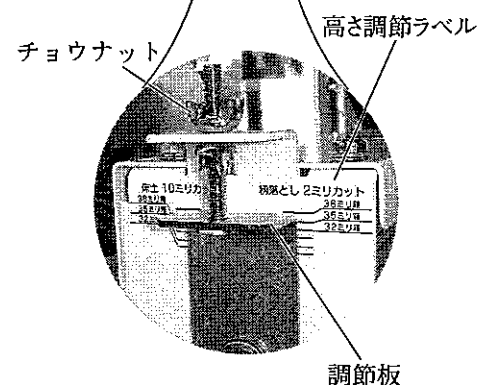
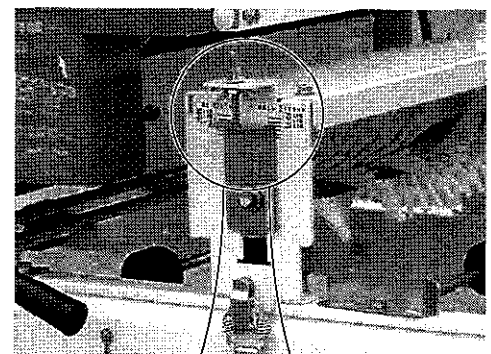
播種機の「メインスイッチ」を「ON」にした時粉落とし回転ブラシが回り、「OFF」にした時停止することを確認してください。

7. 2 粉落としブラシの調節（粉落とし2ミリカット）

- (1) 高さ調節目盛りを目安に調節板の上面を育苗箱の高さに合わせます。回転ブラシが育苗箱上面より2ミリ程度下がる様に調節してください。上側のチョウナットを右に回すと上昇し、左に回すと下降します。（両側調節）

チョウナット1回転で1ミリ上下します。

- (2) 調節が終わりましたら、下側のチョウナットで固定してください。
- (3) 回転ブラシが低すぎますと床土上の粉を掃き飛ばしてしまいます。再度調節してください。
- (4) 育苗箱の高さは同じものを使ってください。高いものと低いものが混じっていると、正常に作業が出来ません。



7. 3 土ならしブラシの調節（床土10ミリカット）

- (1) 高さ調節目盛りを目安に調節板の上面を育苗箱の高さに合わせます。回転ブラシが育苗箱上面より10ミリ程度下がった位置に調節してください。

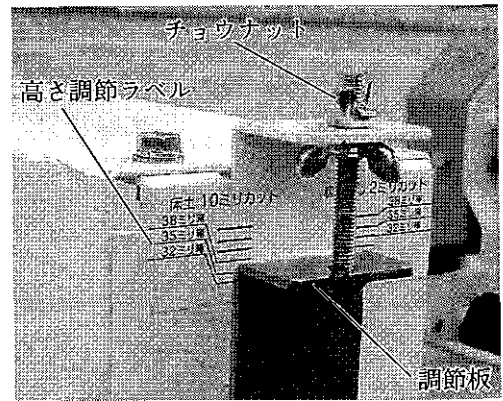
上側のチョウナットを右に回すと上昇し、左に回すと下降します。チョウナット1回転で1ミリ上下します。

- (2) 調節が終わりましたら、下側のチョウナットで固定してください。

- (3) 育苗箱に床土を入れて流しカキトリ量を確認してください。

- (4) 床土の供給量が多い場合は、回転ブラシで床土を持ち帰ってしまいますので、床土の表面がきれいになりません。土の量を減らし持ち帰りのない範囲まで調節してください。

- (5) 床土の供給量が少ない場合は、均らすことが出来ない所も出ますので、(4)とは逆に供給量を少しずつ増やしてください。



注) 土入れ機専用のものに比べこの回転ブラシの直径が小さいので、土ならし性能が異なります。

8. 点検、整備及び保管上の注意

播種作業が終わって長時間使用しない場合は、次の点に注意してください。

(1) 水洗い

水洗いをする場合は、モーター及び電気回路は水を掛けないよう注意してください。

(2) 注油

洗浄後良く乾かし回転部軸受に注油してください。

9. パーツリスト

